



12

げつようび

400ねんの くるしみを かいけつしよう

出エジプト 3章 18節

彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。

イスラエルの民にとって出エジプトは神様の絶対計画でした。ところが、エジプトの奴隷生活が刻印、根、体質になっていた彼らには問題がありました。契約のみことばが伝えられなかったのです。400年間、契約が伝えられなかったので、そのような長い間、ずっと苦しみを味わわなければなりません。このような彼らにとって、出エジプトは契約が回復する神様の絶対計画でした。もし、私にもそのような苦しみがあんなら、3つのことを通して解決することができます。

最初に、今も成就する神様のみことばが伝えられる、みことばキャンプが起きなければなりません。イスラエルの長老とすべての信徒に契約が伝えられたように、私と家庭、教会と現場に、契約が伝えられなければなりません。2つ目、400年の間、影響を与えたエジプトの10の偶像のわざわいに勝つ伝道キャンプが起きなければなりません。今でも私たちを攻撃する偶像のわざわいは、血の契約である、ただイエス・キリストによってだけ勝つことができます。3つ目、みことばキャンプと伝道キャンプが起きる幕屋運動が起きなければなりません。今日のみことばキャンプと伝道キャンプの祝福を味わうなら、現場を生かす幕屋運動の主役になるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily word.



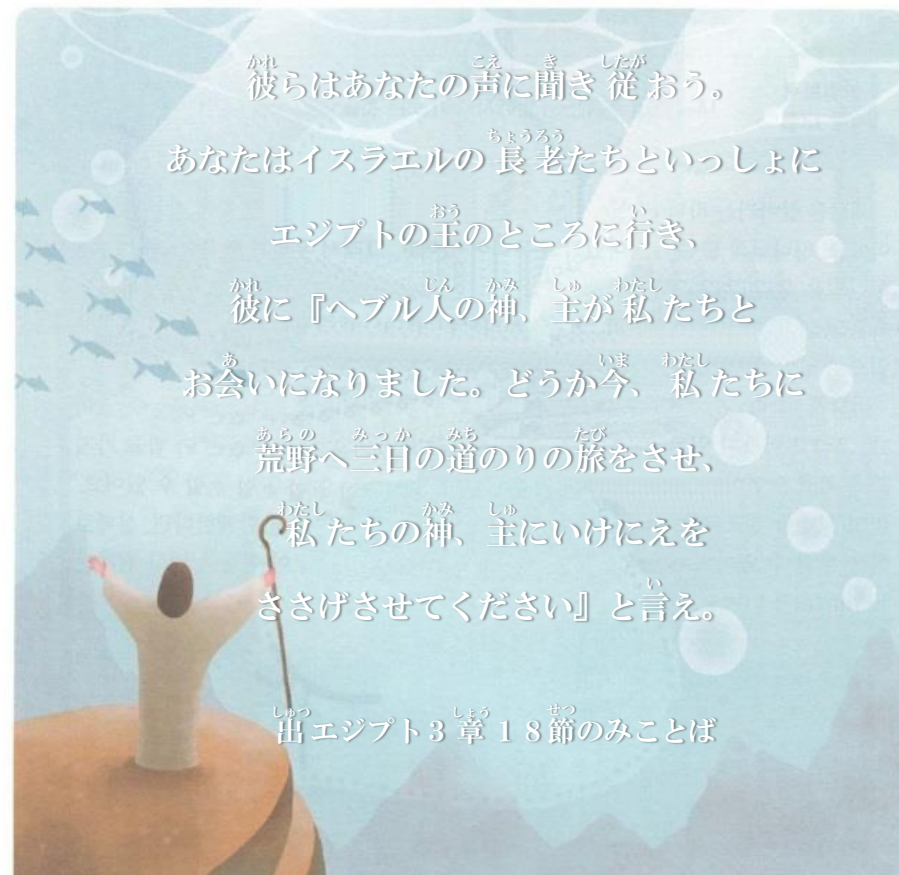
きょうのいのり

神様、400年の苦しみが解決する福音の奥義をくださって、ありがとうございます。家庭、学校など、私が行くところすべてで、みことばキャンプ、伝道キャンプによって、幕屋運動の主役になるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かいてみよう

400年の苦しみを解決するみことばを書いて、心に留めましょう。



彼らはあなたの声に聞き従おう。
あなたはイスラエルの長老たちといっしょに
エジプトの王のところに行き、
彼に『ヘブル人の神、主が私たちと
お会いになりました。どうか今、私たちに
荒野へ三日の道のりの旅をさせ、
私たちの神、主にいけにえを
ささげさせてください』と言え。
出エジプト3章 18節のみことば



きょうのでんどう

Grid area for writing the daily devotion.

あひと 会う人

じゅんび 準備する資料

Blank lines for preparing materials.

しゅうちゅうの ちからを あじわおう

ピリピ 4章 13節

わたし、わたし、つよくして下さる方によって、どんなことでもできるのです。

世の中を生きていく神の子どもに、重要な部分があります。福音のみことばに集中することです。神様のみことばは生きていて力があります。ですから、私たちがみことばを握るとき、神様は私たちの力を超える答えをくださいます。もう一つは、祈りに集中することです。福音のみことばを握った私たちの祈りに、神様は必ず答えてくださいます。それと同時に、私たちの口で告白する祈りは、自身自身の脳に刻印されるので、より一層重要です。

このようになるとき、私たちのたましいと考え、そして、からだまで一つになる集中ができます。そして、これらが一致する瞬間、驚くべきいやしの力が生じます。パウロは、この力を持って味わっていました。「私は、私を強くして下さる神様によって、どんなことでもできるのです。」と告白するくらいでした。このことを助ける賛美、運動、呼吸などをいっしょにすれば、実際に力を味わうことができます。今日から集中の力を充電しましょう。そして、この力を味わって伝えるレムナントになりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、最高のプレゼントである福音を通して、神の子どもにしてくださって、ありがとうございます。いまは福音の中で、毎日、みことばと祈りに集中して、神様の力を味わうことができるように助けてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



福音を 適用しよう

牢屋に閉じ込められても、神様のみことばを握って、祈り、神様の力を求める人がいます。点線をなぞって、絵を完成して、その主人公はだれなのかを考えてみましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

Grid area for writing the story.

Grid area for writing preparation materials.

しめいを みつけよう

使徒 20章 24節

けれども、私が自分の走るべき行程を走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終えることができるのなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません。

世の中には、勉強がよくできる人がいて、良い条件や背景をもつ人もいます。また、見た目がすてきだったり、スポーツが得意な人もいます。このような長所を持っていれば、世の中で成功するのに有利です。お金をたくさん稼ぐ人になることもあります。しかし、このようにして得た成功の結果は、まことの真理ではありません。まことの真理である福音なしで得た成功は、もっと大きな問題をもたらすからです。

私たちは、世の中で成功をしても、結局、崩れて苦しむ成功者を生かす弟子です。神様がそのように呼ばれました。それゆえ、世の中に出て行く前に、根本問題が何であるか確認して出て行かなければなりません。問題があるならば、正確な答えとは何かも体験しなければなりません。正確な問題と答えを知っていれば、どんな場合も揺れなくなります。

今日、新しい祈りの課題をもう一つ持ちましょう。「世の中の成功者を生かす成功者として準備することができますように」ということです。パウロのように、私が何をしなければならぬのか正確な使命を知るようになって、神様がくださった使命を握って進むようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、この世の多くの成功者が福音を知らずに死んでいっています。人間の根本問題と正確な答えをもって、友だちを生かすミッションを悟ることができるように知恵をください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

パウロは、聖霊を通して、苦しみと迫害が来ることを知っていました。自分のいのちを惜しまないで、エルサレムに行きました。ローマに行く道であると知っていたからです。私たちが賛美をささげて、パウロのように神様がくださる私のことを見つける時間を持ちましょう。

あなたは主に導かれ
「行くべき道を教えよう」
(詩 22:8)

341

4. Neumark (1621-1681) NEUMARK: 9.8.9.8.8.8.
G. Neumark (1621-1681)

1. あなたは主に導かれて主をのみあだつ
2. とときめくこころもてまごういろ
3. 主をたえいのりてまごころ

おげばつらいときちかを
きく待つ主のみとむねとあいに
くせよやくそくのめぐあいは

受けてまもられる主のあいを
こころ満たて成れるよわれしんじを
これらに成れるよわれしんじを呼た

しんじいわのうえに立つ
ぶ主はねがいを知りたもう
よれば主任スおぼえたもう アーメン

信頼と確信



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

かみさまの なかで そだとう！

使徒 16章 31節 ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。

植木鉢に植えておいた小さい種が芽を出すには、適当な水と温度、太陽の光が必要です。それらが揃うと、不思議なことに、しばらくして芽が出て、花が咲いたり、実がなったりします。神の子どもになった私たちも、まったく同じです。

神様のみことばを聞いて、生活の中で起きる小さなことの中で祈っているなら、神様の愛と計画を悟ることができます。そのためには、神様に私の心の中心から祈りをささげなければなりません。ただ一言でもよいのです。神様はその祈りを聞いてくださって、信仰が育つように導いてくださいます。ときにはつらかったり、いろいろな問題が起きることもあります。しかし、神様はその時間を通して、さらに強い信仰の人として私を準備させてくださいます。

どんなことがあっても、静かに神様を見上げる時間を持ちましょう。そうすれば、高い山の上にいるように、霊的サミットの位置に立つようになります。そのとき、はじめて友だちを理解して助けることができる余裕ができます。イエス・キリストによって私を生かしてくださった神様は、これからは私を通して人を生かす実を結ぶようにされるでしょう。

きょうのみことば

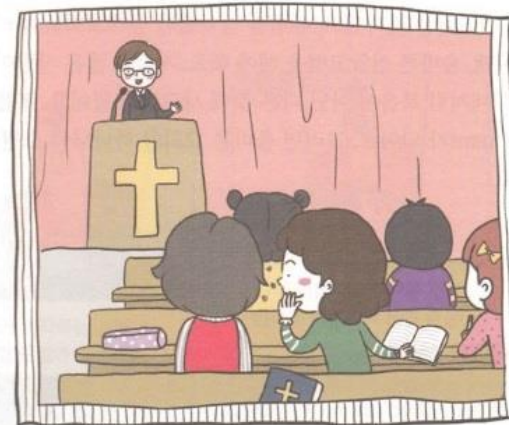
きょうのいのり

神様、私の中にいのちであるキリストがおられることを、毎日、知っている信仰が成長するように祈ります。小さなこと、つらいこと、すべて神様の計画の中にあることを信じます。霊的サミットの座で、人を生かす実を結ぶ者として導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがうところを
みつけよう

礼拝は、私が神様の中で育つことができる最高の時間です。2つの絵の中に礼拝を邪魔することがある7つを見つけて、私の礼拝時間がどうなのかを考えてみましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for notes and materials.

16

きんようび

ただしい きょうかいを つくろう

エペソ 1章 23節

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

教会がある理由は何でしょうか。神様に会うことができなくて、わざわざいの中で生きる人々を生かして、地域をおおっている暗やみ文化を福音文化に変えるためです。少し前まで、世界の教会は、この役割を果たしてました。学校を建てて、貧しさとわざわざを防ぎ、世界宣教のために宣教師をたくさん送ったりして、大きな使命を果たしてました。ところが、今はどんどん変わっていています。福音が薄くなって、福音を伝える教会も消えていています。どのようにすれば、私たちの時代のわざわざを防ぐ、ただしい教会を建てることができるのでしょうか。

最初に、福音を妨げる隊列に立ってはいけません。聖書を最も多く勉強したパリサイ人の教会は、初代教会を迫害して、ヨーロッパを掌握した中世教会は、ルターのような伝道者を迫害しました。2つ目、正しい信仰告白をしなければなりません。今は多くの人がイエスを預言者だと思っていた時代に、福音でない他のものと捕わられています。福音を守って福音を伝えるレムナントになりましょう。そうすれば、ただしい教会と神様の願いを成し遂げる祝福の中になるようになるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the verse.

きょうのいのり

神様、正しい福音を伝える教会の祝福をくださって、ありがとうございます。変わらない福音の力を味わって伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



次のページの伝道トラクトを完成させて、友だちが正しい教会に来ることができるように助けましょう。



どこに行きますか？ 伝道トラクトを作ろう



1 実線に沿って
次のページのトラクトを
切り抜きます



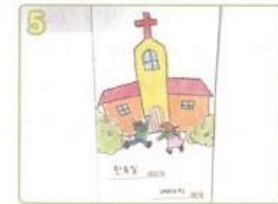
2 まんなかでおって
もう半分にあります



3 教会の絵の点をつないで
教会の絵を完成して
色をぬります



4 私が考える教会の色を
表現しましょう



5 私の名前と伝道トラクトをわたす
友だちの名前を書いて、できあがり！

きょうのでんどう

あひと
会う人

Grid area for writing names of people to share tracts with.

じゅんが
しりょう
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



お大きく外側の四角を切り取って、真ん中で折って、表裏に合わせて使ってください。

受け入れの祈り

愛の神様！

私は神様を離れた罪人です。
 神様を離れたゆえに問題が起きるとい
 ことも知らずに生きていました。
 しかし、神様が私をととも愛して
 くださって、神様に会うことが
 できるように、イエス・キリストを
 送ってくださったことを信じます。
 きょう、そのイエス・キリストが私の
 主人になってくださり、すべての
 問題を解決してくださることを信じます。
 この世で知ることができないほどの
 大きな愛をくださったことも知りました。
 いま私の心のとびらを開いて
 イエス様をキリストとして、私の主人と
 して受け入れます。
 生きておられるイエス・キリストのお名前によ
 ってお祈りします。アーメン！



おめでとう！
 いま、あなたも
 神の子どもになりました！
 もう神様がともにおられるので
 なにもすることがないのではなく
 いつでも教会で礼拝を
 ささげることができます！

さびしくて、つらいときなにかを考えている？
 することがなにもないとき
 どこに行きたい？



_____へ
 _____より



魚は水の中で、鳥は空で
 木は地に根をおろして
 生きることができる
 ように造られました。
 そのように、すべてには、
 いるべき場所があります。
 そのように造られた方が
 おられます。それが神様です
 神様は私とあなたを
 神様とともにいるように
 造られました。
 ところが、サタンという存在のゆえに
 神様を知らないようになって、
 会えなくなってしまいました。
 わけのわからない罪とのろいまで
 体験するようになりました。
 このすべては神様ととも
 いなければならないのに、
 ともいることができないから
 起きてることなのです。



神様はこのように私たちをととも愛して
 くださり、私たちに会うために来て
 くださることを決められました。
 キリストであるイエス様としてこの世に
 来てくださいました。ほかの方法、
 ほかの愛の大きさではできないことを
 してくださるためでした。
 キリストは3つのことをしてくださりました。

1つ

神様に会えないようにさせる
 罪を解決してくださいました。



2つ

私と神様を会えない
 ようにじゃまをする
 サタンを踏み砕いて
 くださいました。



3つ

神様に会える
 唯一の道になって
 くださいました。



その方に出会えばさびしくなくなり、
 することがなにもないと思いうことも
 なくなります。
 どのようにすれば会えるのか、
 裏のページを見てね

ヨシュア 3章 8～9節

あなたは契約の箱をかつぐ祭司たちに命じてこう言え。『ヨルダン川の水ぎわに来たとき、あなたがたはヨルダン川の中に立たなければならない。』ヨシュアはイスラエル人に言った。「ここに近づき、あなたがたの神、主のこばを聞きなさい。」

イスラエルの民は、40年間、荒野の道を歩む苦勞をしました。モーセが死んだ後には、ヨシュアとともにヨルダン川を渡るようになりました。神様が困難のように見える事を与えられた理由があります。

最初に、エジプトで奴隷として暮らしながら持つようになった悪い習慣を捨てることを望まれたからです。2つ目、神様の力を知らない人々が、神様の力を回復することを望まれたからです。3つ目、カナンに入る信仰を回復するためでした。

私たちもまた、毎日、一度も行ったことがない道を歩んでいます。神様は、私たちが私の考え、私の力、私の計画でなく、神様を知って神様の力で生きていくことを望んでおられます。それゆえ、みことばをくださって、このみことばについて行くことを望まれるのです。「私はなぜこのように、なにもできないのだろうか」と思えるとき、神様を見上げながら、考えのヨルダン川を渡りましょう。私たちの教会が237か国を生かす信仰のヨルダン川を渡るように祈りましょう。また、私の学校、家庭でも神様が導かれるまま、信仰のヨルダン川を渡るように祈りましょう。私を通して神様の力が毎日現れるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、問題と苦しみのヨルダン川の前で、信仰を回復する時間、神様の力を回復する時間になるように祈ります。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



体力をつけよう

祈りは神様と呼吸することです。祈りでヨルダン川を渡る体力がつくように、呼吸運動をしましょう。神様とともにいる時間を味わいましょう。



- 1 背中を床につけて、ひざを曲げます。
足は壁につけて、ひざとおしりの角度を90°にします。
- 2 ひざの間にトイレットペーパーを置きます。(ひざでトイレットペーパーを挟みます)
- 3 右手は頭の下に置いて、左手で風船を持ちます。
- 4 鼻から息を吸って、口からはきます。その間、おしりを少し上げます。
腰は床につけておいてください(そうすれば、お腹に力が入るでしょう)
また、足で壁を押さないでください。かわりに、かかとを下へ引くような感じにします。
- 5 足の間にあるトイレットペーパーに力が入り、
足の内側と後ろ側に力が入るのを感じましょう。この姿勢をずっと保ちます。
- 6 それから、鼻から息を吸って、ゆっくり口から風船に吹き入れます。
- 7 そして、舌を使って風船の空気が抜けてしまうのを防ぎながら、3秒間停止します
- 8 もう一度、息を吸って、ゆっくり息をはきます。
- 9 風船をふくらませている間、首やほおが緊張しないようにしましょう。
- 10 4回繰り返して、風船を外します。十分に休んでから、さらに4回ほど繰り返します。

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび 準備する資料

Grid area for writing notes or prayers.